

＼ 話題がいっぱい /
なかつゆい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかつゆい”しませんか。
(なかつゆい = ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



11/12 ヤクルトいよいよ日本シリーズへ!

毎年、市内で春季キャンプを実施している東京ヤクルトスワローズが6年ぶり8度目のセ・リーグ優勝を果たしました。さらにクライマックスシリーズを制し、日本シリーズ進出への切符を手に入れました。

市役所9階に設置された特設会場ではパブリックビューイングが行われ、市内外から熱いヤクルトファンたちが応援に駆けつけました。観戦していたファンは「試合が始まってすぐに投手が打球を受けて途中降板する場面があったが、動揺することなく追加点を入れ、同点で試合を終えることができてよかった」と語りました。今年のヤクルトは強い!市民の皆さんも引き続き東京ヤクルトスワローズを応援(おうえん)していきましょう!



11/5 第15代国際交流員 ブレイデンさん着任

新国際交流員に就任したアメリカ合衆国ワシントン州出身のブレイデン・ベナイトさんが、市長に着任の挨拶を行いました。ブレイデンさんが「地域や子ども達との交流を通してアメリカの文化や言葉を伝え、市の国際交流や異文化理解の促進に貢献したい」と意気込みを述べると、松本市長は「幅広い視点で、市の国際交流の発展に力を貸してほしい」とその活躍に期待を寄せました。

家族4人で沖縄に来たブレイデンさんは、「生活に慣れてきたら子どもと空手道場に通り沖縄の文化に触れたい」と話し、新生活をとて楽しみになっている様子を見せていました。



10/31 たくさんの思いが込められた打ち上げ花火

ようやく落ち着いてきたコロナ禍の中、頑張ってきた皆さんに空を見上げ、笑顔になってもらいたいという思いで、「ヒヤミカチ沖縄10.31 project」とのコラボによる花火イベントを開催しました。

オリジナルタオルの売り上げやイベントへの協賛等、多くの市民・団体・企業の協力により、市内2か所からこれまでに見たことのない規模の花火を打ち上げることができました。

市民からは「今年初めて見る花火に癒された」、「溜まっていたストレスが一瞬で吹きとんだ」などたくさんの反響があり、秋の夜空に広がったきれいな花火を見た見物客から笑顔が溢れました。



11/16 組踊おでかけワークショップ in前田小

国立劇場おきなわに所属する組踊の実演家による「おでかけワークショップ」が前田小で行われ、4年生約100人が参加しました。児童たちは組踊や琉球古典音楽等について学び、組踊に関するクイズや所作(歩き方)に挑戦しました。また、三線を弾ける児童と講師が「ていんさぐぬ花」を三線で奏でました。

児童からは「みんなの前で三線を弾いて拍手がもらえて嬉しかった」「歩き方の体験が楽しかった」などの声が上がりました。

講師の上原崇弘さん、比嘉大志さん、新垣勝裕さんは「地域の伝統や歴史を大切に、芸能に興味を持ってもらうきっかけになれば」と話しました。



11/5 郵便局と連携して火災予防

空気が乾燥して火災が起こりやすくなる時期を迎えることから、火災発生を防止し、市民の生命や財産を守るため、秋の火災予防運動が実施されました。この取り組みは全国で行われており、本市は運動期間中に普及啓発活動の一環として浦添郵便局と連携し、消防車両や市民の目に触れる機会の多い郵便集配車両に専用のステッカーを貼り付け、火災予防をアピールしました。

浦添郵便局の渡口局長は「郵便車両は毎日市内を満遍なく走っています。この活動により市内の火災発生が0件になることを目指します」とあいさつしました。



10/29 家庭に与える笑いのチカラ

家庭や学校、職場が大きく変化する時代に対応できる「生き抜く力」を笑いから学ぼうと市民講座が開催され、10代~70代の約50人の市民が受講しました。

お笑い芸人まーちゃん(小波津正光氏)がコロナ禍での参加者のお悩みを聞きながら笑いで解決!

受講者からは「コロナ禍でも見方を変えればプラスになる、という話に励まされ前向きになれる」や、「共感できることがたくさんあり、最近頑張れなくて苦しかったが話を聞いて元気になれた」などの感想が寄せられ、久々の対面講座の会場は「たくさんの笑い」に包まれ好評を得ました。



10/28 高齢者の買い物支援

移動販売・移動スーパーが市内5か所の自治会や個人宅を巡り、高齢者の生活を支えています。茶山自治会では、店舗まで歩いていけない高齢者や買い物に不便を感じている人々から「近所で買い物ができるので、とても助かる」と好評で、浦添ハイツ、浦添ニュータウン地域からも同様の声が聞かれます。

特に人気があるのは生鮮食品で、新鮮な食材を見て選び購入できることが喜ばれています。移動販売をきっかけに、家に閉じこもりがちな高齢者の外出の機会が増えたり、利用者間のコミュニケーションの場になるなど、地域の繋がりを深めることに一役買っています。